

JAL が取り組む
新しい空への挑戦を
皆さまにお伝えします

すべてのお客さまに聞こえやすい
空港アナウンスを実現するために

「ミライスピーカー®」を 羽田空港国内線ターミナルに導入

チェックインカウンターや搭乗口など、お客さまへ音声（アナウンス）を使ったご案内をすることが多い空港。JAL は、耳のご不自由なお客さまやご高齢のお客さまはもちろん、すべてのお客さまに聞こえやすい音を出すことができる、株式会社サウンドファン製の「ミライスピーカー®」の運用を、羽田空港国内線ターミナルで開始しました。

これまで、遠くまでアナウンスを届けるためには、スピーカーの音量を上げなくてはならず、近くにいるお客さまが驚かれたり、耳障りに感じられたりすることがありました。しかし、ミライスピーカー®は耳のご不自由な方にも聞こえやすいという効果が確認されている、曲面に音を反射させる蓄音機の原理を応用しているため、大きな音を出さなくても、離れた場所まで明瞭に言葉や音楽を届けることができます。

導入を担当した空港企画部旅客グループの福島英峰^{ひでたか}は「チェックインカウンターや保安検査場はお客さまが多く、範囲も広いため、角度を変えて2台設置することで、アナウンスが遠くまで確実に届くよう工夫しています」と話します。耳の不自由な JAL グループ社員は「以前のスピーカーより落ち着いた音で、空港のような大きな施設でもしっかりと耳に届きました」と効果を実感しています。

現在は羽田空港国内線ターミナルの一部のチェックインカウンターや保安検査場、搭乗口などで運用中。今後はお客さまのご要望を伺いながら、順次設置空港、空港内の設置場所、台数を拡大していく予定です。

JAL はこれからも、お客さまが安心して、快適にお過ごしいただける空港サービスの実現を目指してまいります。

01



01. 不快感なく音を届けられる「ミライスピーカー®」。色は JAL 特注の白。02.03. より多くのお客さまに聞こえやすいアナウンスが届けられるよう運用中。